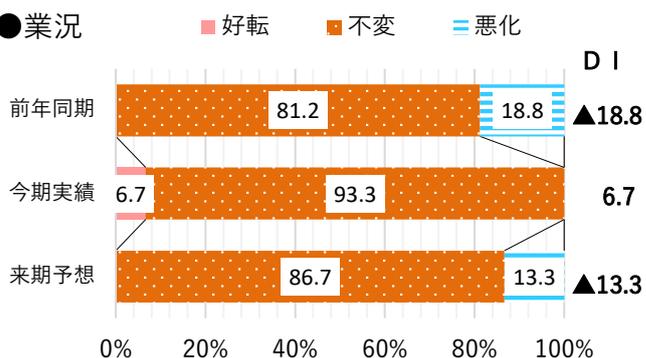


# 卸 売 業

## 業況、売上、採算

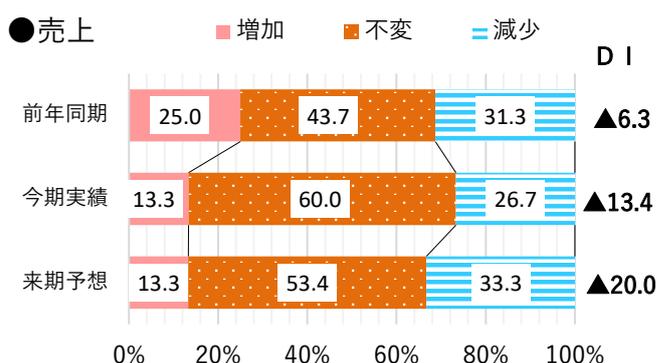
今期（2025.4～6）の業況判断DIは6.7で、●業況  
前年同期（2024.4～6）と比べ25.5ポイント  
上昇しました。

来期（2025.7～9）業況DIは今期（2025.4～6）と比べ20.0ポイント低下し、マイナス  
に転じると予想しています。



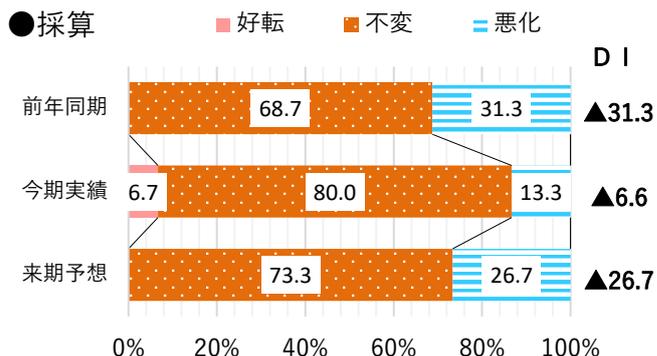
今期の売上DIは▲13.4で、前年同期と  
比べ7.1ポイント低下しました。

来期の売上DIは今期と比べ6.6ポイント  
低下すると予想しています。

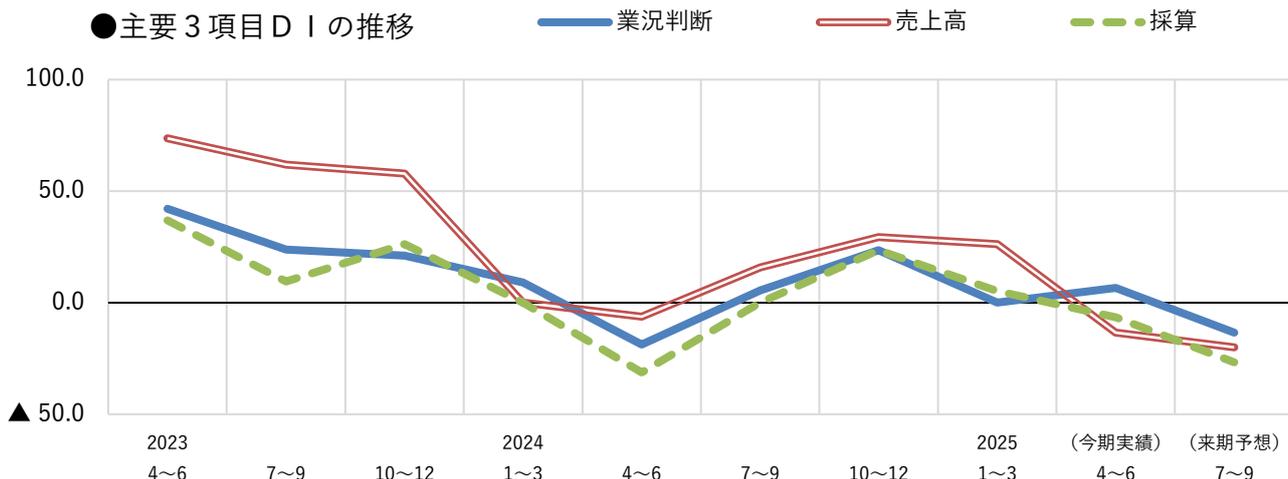


今期の採算DIは▲6.6で、前年同期と  
比べ24.7ポイント上昇しました。

来期の採算DIは今期と比べ20.1ポイント  
低下すると予想しています。



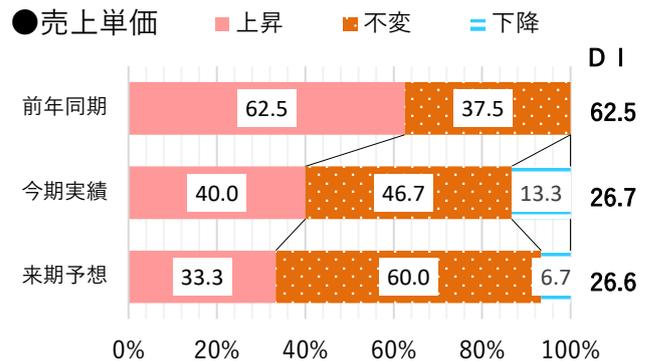
### ●主要3項目DIの推移



## 売上単価、商品仕入単価

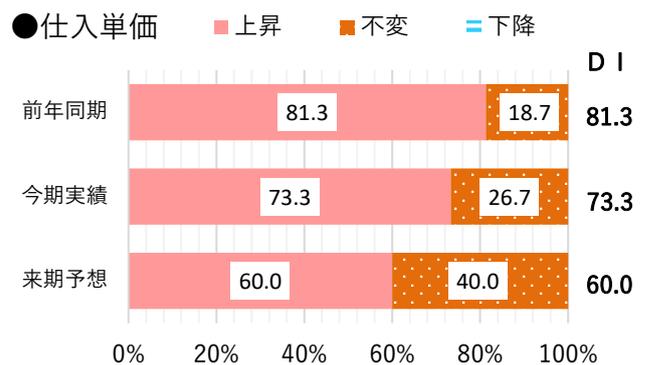
今期の売上単価DIは26.7で、前年同期と比べ35.8ポイントと大幅に低下しました。

来期の売上単価DIは今期と比べ0.1ポイント低下すると予想しています。



今期の仕入単価DIは73.3で、前年同期と比べ8.0ポイント低下しました。

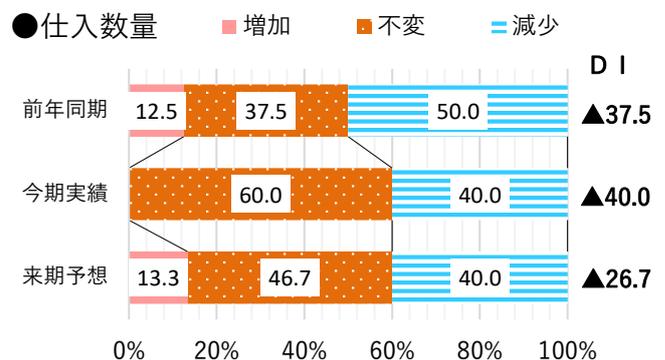
来期の仕入単価DIは今期と比べ13.3ポイント低下すると予想しています。



## 商品仕入数量、商品在庫数量

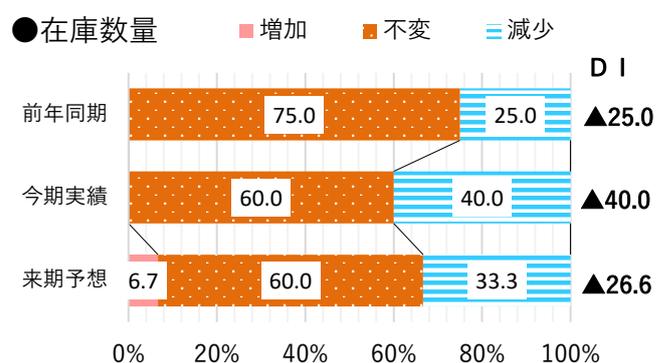
今期の仕入数量DIは▲40.0で、前年同期と比べ2.5ポイント低下しました。

来期の仕入数量DIは今期と比べ13.3ポイント上昇すると予想しています。



今期の在庫数量DIは▲40.0で、前年同期と比べ15.0ポイント低下しました。

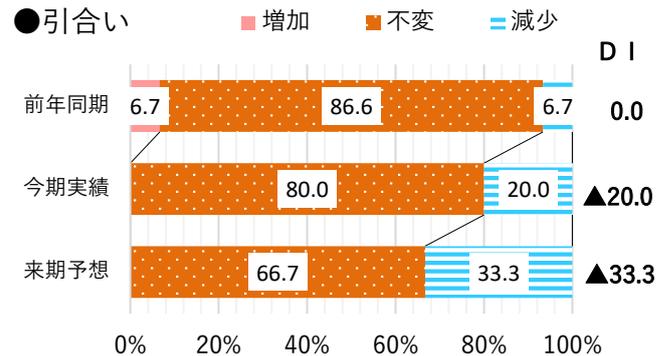
来期の在庫数量DIは今期と比べ13.4ポイント上昇すると予想しています。



## 引合い

今期の引合いDIは▲20.0で、前年同期と比べ20.0ポイント低下しました。

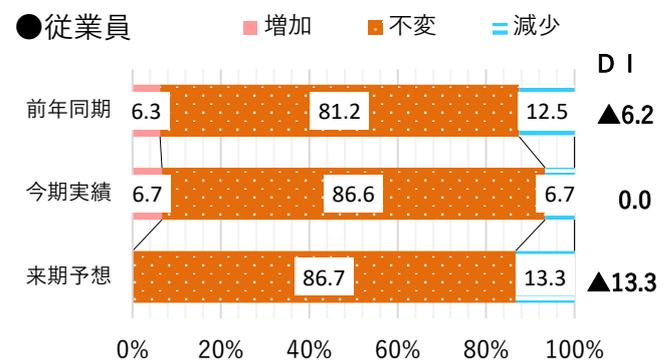
来期の引合いDIは今期と比べ13.3ポイント低下すると予想しています。



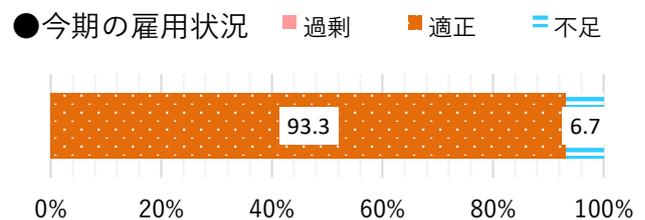
## 従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは0.0で、前年同期と比べ6.2ポイント上昇しました。

来期の従業員DIは今期と比べ13.3ポイント低下すると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は93.3%、不足していると回答した企業の割合は6.7%でした。



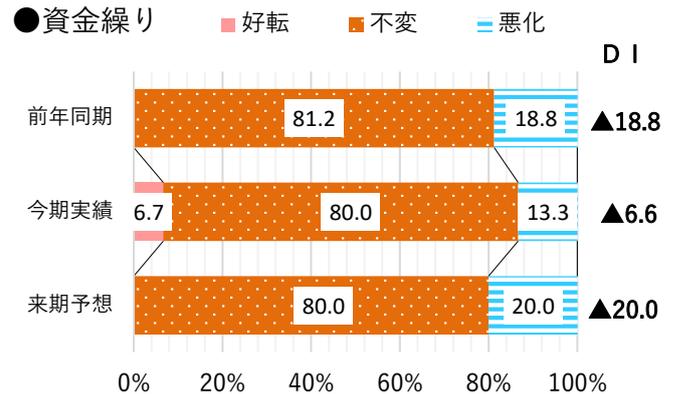
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、80%を占めました。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	1
	不足	0
不変だった	過剰	0
	適正	12
	不足	1
減少した	過剰	0
	適正	1
	不足	0

## 資金繰り、設備投資

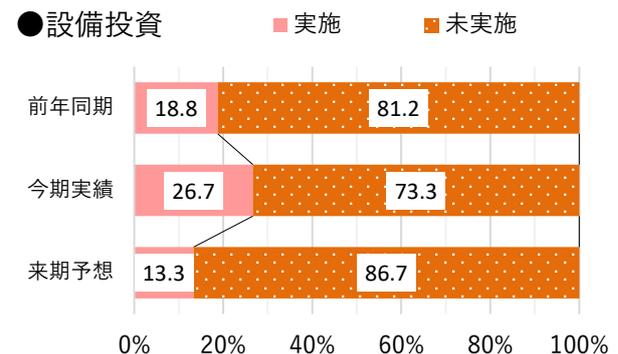
今期の資金繰りDIは▲6.6で、12.2ポイント上昇しました。

来期の資金繰りDIは今期と比べ13.4ポイント低下すると予想しています。



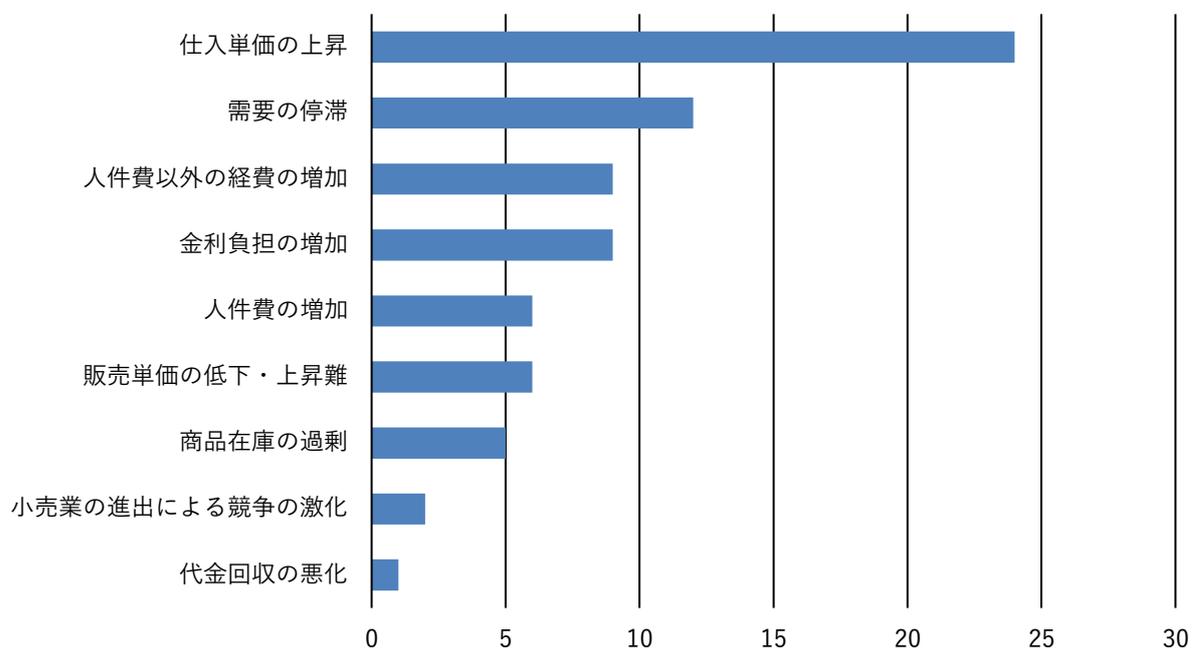
今期の設備投資は26.7%が実施と回答し、前年同期と比べ7.9%上昇しました。投資内容は1位が「車両運搬具」、2位が「OA機器」でした。

来期は13.3%が設備投資を計画していると回答しています。



## 経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「仕入単価の上昇」、2位が「需要の停滞」、3位が「人件費以外の経費の増加」、「金利負担の増加」（同位）の順です。



## 企業の声

## [今期の業況について]

- 仕入価格の上昇により、経常利益に未達となった。(食料、飲料)
- 新幹線、高規格道路、泊発電所の開発が継続しているため、従業員を増員した。(建築材料)
- メーカーからの値上げ対応が多い。同業者との価格競争があり大変である。(包装資材)
- 価格の高止まりが続き、利益確保が困難であった。(鉱物・金属材料)

## [来期の業況について]

- 新幹線、高規格道路、泊発電所の開発が継続して為、不変と予測する。(建築材料)
- 引き続き、価格の高止まりが予測され販売数量・売上額共に減少を想定している。(鉱物・金属材料)